

製品名: TA2R4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18585**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	TAS2R4
別名	
遺伝子 ID	50832.0
SwissProt ID	Q9NYW5
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 10-90

背景

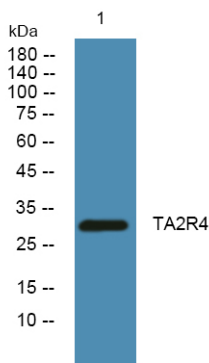
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーに属する候補味覚受容体ファミリーのメンバーをコードし、舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞に特異的に発現する。これらの一見イントロンのない遺伝子は、苦味受容体として機能する 7 回膜貫通型受

容体タンパク質をコードする。この遺伝子は、7番染色体上で他の3つの候補味覚受容体遺伝子とともにクラスター化しており、苦味知覚に影響を与える遺伝子座と遺伝的に連鎖している。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 口腔および消化管における苦味化合物の知覚に関与するデナトニウムおよび N(6)-プロピル-2-チオウラシルに対するガストデューション共役受容体。PLCB2 およびカルシウム調節性陽イオンチャネル TRPM5 を介したシグナル。、その他: 1つの味覚受容体細胞に複数の苦味受容体が発現している。、類似性: Gタンパク質共役受容体 T2R ファミリーに属している。、組織特異性: 舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞のサブセットおよびガストデューション陽性細胞にのみ発現している。、

研究分野

味覚伝達;

画像データ



SW480 細胞溶解液のウエスタンブロット分析、TA2R4 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩